

あさご農業委員会だより

新体制がスタート！

ー地域農業の

未来に向けてー

朝来市農業委員会
会長 石原 武美



2023年も残り少なくなり、もうすぐ新しい年を迎えます。長い間、私たちの生活を苦しめた新型コロナウイルスも5類の扱いとなり、社会生活も少し落ち着いて徐々に以前のような普通の生活に戻りつつあるように感じます。

皆様方にはご健勝でお過ごしのこととお喜び申し上げます。

朝来市農業委員会は、本年7月に農業委員14名、農地利用最適化推進委員（以下、推進委員）13名でスタートし、数ヶ月が経過しました。農業委員の半数が新しく、女性委員も新

代から70代のメンバーが揃いました。推進委員は新任が10人で20代から70代のメンバーとなつています。それぞれが、多くの経験を活かした方ばかりであり、今後の活動に期待しているところです。

農業委員会組織の理念は「かけがえのない農地と担い手を守り、力強い農業をつくる」かけ橋」とされておられ、私たち委員はこの理念に添い、農地法に基づく許可などの的確な審議をはじめ、農地利用の最適化（担い手への農地集積・集約化、遊休農地の発生防止・解消、新規参入の促進）等、かけがえのない豊かな農地や地域を守るための活動に取り組んでいます。

現在、市内の各地域で地域の農業・農地・担い手等の将来のあり方を示す「地域計画」の作成に向けた取り組みが進んでいます。多くの地域で農業者の高齢化が進行しており、「今、耕作している田畑は、自分が出来なくなったらどうなるのか？」等、農業者は多くの不安を抱えているのが現実で、今進めている「地域計画」の作成は大変重要な事です。今まで地域の皆さんの努力で守り続けてきた



農業委員・推進委員研修会の様子

発行
朝来市農業委員会
令和5年12月
Tel.079-672-2833
(直通)



農地を、次の世代に確実に引き継ぐため、「地域計画」をつくりあげましょう。

農地を守ることは、自分たちの生活を守るだけでなく、日本人の食生活、そして地域の自然・環境、そして農業を基本とした昔からの人々の文化を守ることにつながるというのを意識し、活動に取り組みたいと思います。皆様方のご支援・ご協力をより多くお願い申し上げます。

今期 専門委員会の 構成について



今年7月の改選に伴い、専門委員会の委員構成が変わりました。

農業委員会は農業者の代表機関として、農業委員会等に関する法律、地方自治法の規定に基づき設置されている行政機関です。

農業委員会には、農業委員、農地利用最適化推進委員合同で3つの専門委員会を運営しており、それぞれの委員会で課題に取り組んでいきます。

（新委員の担当地区は裏面）

農政委員会

- 委員長 米田 利秋
副委員長（書記） 藤井 幸三
委員 篠岡 昌代
伊藤 孝行
島田 義弘
足立 哲夫
笠垣 肇
鴨谷 康隆
松本 晃

【取り組み内容】
施策の提案及び意見書の提出など、農業者の声を市の農業施策に反映させること。

農地委員会

- 委員長 米田 隆至
副委員長（書記） 高本 知宜
委員 佐野 伸夫
西野 好朗
石原 武美
小山 忠幸
白瀧 英雄
中尾 孝幸
中島 勝也

【取り組み内容】
遊休農地の解消、違反転用対策など、市内の農地全般において、有効な対策を協議し、農地の有効利用を図ること。

広報研修委員会

- 委員長 大田垣 強
副委員長（書記） 吉井 忠大
委員 寺前 信龍
細見 和範
小田 彰子
奥 武史
梶原 泰輔
坪井 良尚
久 洋平

【取り組み内容】
農業委員会だよりの発行、委員の資質の向上に関すること。



令和5年度

農地パトロールを実施

出発前の打合せ



か、新たに遊休農地化した農地がないかを中心に、市内各地の農地を確認しました。

農業者の高齢化や担い手の不足により、農地の管理に手が回らず、遊休農地化しやすい状況にあります。そのため、なんとか地域の農地を守ろうと各地域で尽力されています。一方で、農業研修生として新たに農業を始めようとする方々もいます。地域の農地を今後もしっかりと作成的ことはとても有効ですので、ぜひご検討ください。

朝来市農業委員会では農地法の規定に基づき、毎年、遊休農地の実態把握や、農地の違反転用などの早期発見・発生防止のため農地パトロールを実施しています。

今年度は、農業委員及び農地利用最適化推進委員で地域ごとに7つの班を編成し、8月21日から31日のうち7日間にかけて市内各地域の農地パトロールを行いました。

令和4年度のパトロールにより把握した遊休農地は、市内全体で約23軒となっています。今年度の調査において、把握している遊休農地が解消されているかどうかどう



調査の様子

審議内容	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	計
農地法第3条 農地の売買・貸借	2	3	5	7	5	4	7	3	6	42
農地法第4条 農地の自己転用				1	1	1		1		4
農地法第5条 農地の転用売買・貸借		3	2	1		2	2	2	2	14
非農地証明申請	1		1	5		3	1	1	6	18
農業経営基盤強化促進法による農地の貸借	5	158	166	69	4	6	1	4	6	419

総会での審議件数

農地パトロールを終えて

生野区域
農業委員

寺前 信龍

令和5年度から農業委員として活動することになり、初めての農地パトロールに参加しました。担当地区は生野町全域と朝来第3区域をパトロールしました。この地域は朝来市の中でも特に中山間地域にあたり、担い手不足、狭小農地、と悪条件が特に顕著にみられる地域です。また、人口の減少と高齢化も同様です。近年では鳥獣害も増えており、対策が急がれます。今後は地域ぐるみの遊休農地の活用等について取り組みが急がれると感じしました。



和田山第5区域
推進委員

梶原 泰輔

令和5年7月から農地利用最適化推進委員に任命されました。責任を感じると同時にやりがいも感じています。3年の任期、中精一杯頑張ります。

8月31日に和田山第5区域である竹田地域の農地パトロールを関係者4名で行いました。初めての活動でしたが、来年はまた違った視点で見えるものもあるのか？と期待をしています。その上での感想ですが、竹田地域はもとより朝来市内はほとんどの地域で圃場整備が行われていますが、辺縁部では圃場整備が行われずに残された昔ながらの小さな農地、特に林野に接する農地の荒廃が酷いように思われました。後継者がいないまま担い手も見つからずに、地権者が高齢化し管理がままならなくなっている事例が多いように思います。現在、地域計画の策定がすすめられていきます。耕作に問題ない農地であれば土地利型農業者が担います。耕作不利用農地を預かる農業者はほぼいないでしょう。中山間地域直接支払制度や多面的機能支払制度への取組みにより農地や周辺地域の向上し、地域の計画により農地の将来像が明確化される一方で、各制度や地域計画の対象とならない農地への取組みが必要と感じました。



山東第4区域
推進委員

坪井 良尚

8月24日に、推進委員になって初めての農地パトロールに参加しました。地元にいながら、中には細い道を登っていった山手の場所に畑があることに驚き、地域の方々がこれまで日々苦勞して農地を守ってこられた事がよくわかりました。その反面、耕作放棄地も想像以上に多くあり、農地の荒れゆく姿に胸が痛む思いでした。今後、推進委員として微力ながらも農地が守れるよう推進活動をしていきたいと思っています。

朝来第1区域
推進委員

久 洋平

今年度から農地利用最適化推進委員になり、初めての農地



パトロールでした。私の担当する地域では、集落から離れた周囲が山に囲まれた圃場や法面の広い圃場に遊休農地が多く見られました。また、平地にも少しでも遊休農地が出てきているようです。農家の後継者不足はあちこちで叫ばれており、農地を継いでくれる担い手がおらず困っている地域は少なくないかと思えます。しかしながら、私のような新規就農者は、地域との繋がりが十分でないために農地集めに苦しみます。今後は農地の後継者を探している方と耕作面積を増やしたい担い手のマッチングがより重要になります。朝来市には私のように市外から移住し農業に取り組み新規就農者が年々増えていきます。担い手に困っている地域の方には是非、彼らを受け入れていただきより強固な地域計画づくりに取り組みたいと思います。

朝来市農業委員・農地利用最適化推進委員担当地区一覧 任期 令和5年7月20日～令和8年7月19日

地域	区域	地区名	農業委員名	推進委員名
生野地域	生野区域	生野1区 生野2区 生野3区 生野4区 生野5区 生野6区 生野新町 奥銀谷 小野 生野緑ヶ丘 竹原野 上生野 黒川 猪野々 白口 円山 小田和 菖蒲沢 北真弓 南真弓 川尻 栃原	寺前 信龍	白瀧 英雄
和田山地域	和田山第1区域	林垣 緑ヶ丘 秋葉台1区 秋葉台2区 秋葉台3区 秋葉台4区 寺内 万葉台 高生田 室尾 市場 和田 竹ノ内 内海 朝日	伊藤 孝行	中島 勝也
	和田山第2区域	寺谷 東谷 平野 土田 西土田 宮田 高瀬 法道寺 岡 芳賀野 宮内 高田	島田 義弘	小山 忠幸
	和田山第3区域	和田山上町 和田山京口 和田山本町 和田山新町 枚田 市御堂 比治 法興寺 立ノ原 枚田岡 玉置 桑原 柳原 駅北 駅前	篠岡 昌代	笠垣 肇
	和田山第4区域	白井 宮 久田和 東和田 中 野村 岡田 弥生が丘1区 弥生が丘2区	西 好朗	吉井 忠大
	和田山第5区域	竹田下町 米屋町 観音町 中町 竹田上町 竹田新町 殿町 旭町 東町 栄町 安井 殿 三波 藤和 久留引 加都 筒江 久世田 城南台	高本 知宜	梶原 泰輔
山東地域	山東第1区域	滝田 大垣 下町 中町 川原町 上ゲ町 末歳 新堂 大内 塩田 野間 田ノ口 金浦	藤井 幸三	松本 晃
	山東第2区域	諏訪 大月 向大道 楽音寺 清水町 小谷	佐野 伸夫	奥 武史
	山東第3区域	田中 西地 西谷 比叡 東 柴 一品 上早田 早田 和賀	石原 武美	中尾 孝幸
			小田 彰子	
	山東第4区域	柊木 溝黒 山歳 喜多垣 迫間 与布土 森 三保 越田 柿坪	細見 和範	坪井 良尚
朝来地域	朝来第1区域	物部 桑市 上八代 立脇 愛タウン 多々良木 石田 伊由市場 澤 山内 納座 川上	米田 隆至	久 洋平
	朝来第2区域	山口 立野 新井1区 新井2区 新井3区 元津 上岩津	大田垣 強	鴨谷 康隆
	朝来第3区域	八代 山本 土肥 老波 佐中 平野 神子畑 羽渕 口田路 中田路 奥田路	米田 利秋	足立 哲夫

編集後記

農業委員・農地利用最適化推進委員の改選後、最初の農業委員会だよりの発行となりました。今回から年二回の発行となり、中身の濃い委員会だよりを目指して広報・研修委員一同取り組んでいます。委員会メンバーも刷新され、これまでにない発想でお届けできると確信いたしております。皆さまのご指導、よろしくお願いいたします。

(大田垣)

農業者年金に加入しましょう

1 農業に従事されている方は誰でも加入できます

60歳未満の国民年金第1号被保険者(国民年金保険料納付免除者を除く。)であって年間60日以上農業に従事している方は誰でも加入できます。配偶者や後継者など家族農業従事者の方も加入できます。

家族一人ひとりの年金を！ 今、女性の新規加入者が増えています



詳しくは、農業委員会事務局、またはJ Aにお問い合わせください。